

〔派 遣〕

派遣研究者 東北大学大学院 工学研究科 電子工学専攻 修士課程 衣川 尚臣

1072104

研究集会名 2007 IEEE International Ultrasonics symposium
(IEEE Ultrasonics, Ferroelectrics and Frequency Control Society)

開催期間 平成19年10月28日～10月31日

開催場所 アメリカ合衆国 ニューヨーク 市

発表論文 周波数領域における超音波エコーのコヒーレンスに基づく心臓壁領域の同定
(Identification of Heart Wall Based on Coherence of Ultrasonic Echoes Evaluated
in Frequency Domain)

概 要

本会議は、超音波に関する世界最大の国際会議である。世界各国から計1000件の申込みの中、採択率は6～7割と厳しいものである。私は、ポスターセッション”CARDIAC(心臓)”にて標記論文の発表を行った。内容は、超音波を用いて心臓の壁領域を自動同定する手法についてであり、医師は主観によらず画像診断を行うことができ、負担の軽減と誤診の可能性を低減することを狙いとしたものである。

本発表には、多くの研究者が興味を持って訪ねて下さった。1時間の発表であったが、その間に人の流れが途切れることなく、常に誰かがポスターを見て、質問をする順番を待つというような状況であった。若い学生だけでなく、超音波医工学分野で著名な先生方とも討論をし、良き評価を頂くと同時に有用なアドバイスを頂戴した。討論の場には来られなかったが、ポスターを見て興味を持って下さった方々もいて、論文をe-mailで送って欲しいとの申し出も数件あった。討論の最後にお褒めの言葉を頂いて、握手を求められることも度々あったが、このようなことは自らの自信につながると同時に、今後の研究に対する大きなモチベーションとなった。この国際会議は、日本国内では行われていない大規模な超音波だけについての会議であるため、他の発表も自らの研究に直結する非常に有用なものばかりであり、4日間の学会聴講はまた大変有意義なものであった。最後にこのような有意義な海外渡航を経済面から支援して下さいました貴財団に感謝の意を表します。